

白鳥大橋インフラツーリズムの推進！

室蘭開発建設部では、室蘭観光推進連絡会議と連携して「白鳥大橋インフラツーリズム」を推進しています。令和2年8月5日には国土交通省が推進する「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」のモデル地区に選定されており、地域で愛される白鳥大橋を観光資源として活用した地域活性化を目指しています。

モデル地区への登録以降、モニターツアーを実施したほか、現地協議会に有識者を招いて助言をいただいたり、地元有志を交えたワーキングなどを行って、令和3年度からのインフラツーリズムの本格実施に向けて検討を進めてきました。



▲R2.10.4 モニターツアー



▲R2.10.29 現地協議会



▲R3.2.10 ワーキング

多くの方々のご協力のおかげで令和3年7月22日から室蘭観光推進連絡会議が主催する「白鳥大橋主塔登頂クルーズ」が本格始動しました。令和3年11月30日までの約4ヶ月間で、のべ109人の方々に白鳥大橋主塔から室蘭港を望む絶景パノラマを堪能していただきました！

室蘭観光推進連絡会議と協力して施設利用に関する協定を締結したほか、職員が講師となって施設を案内するガイドの研修を行いました。



▲R3.6.16協定締結式



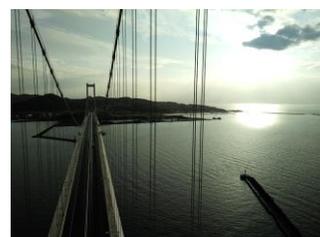
▲R3.6.29 ガイド研修(座学)



▲R3.7.6 ガイド研修(実地)



期待を胸に白鳥大橋の築島へ上陸！

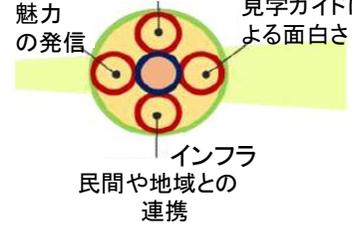
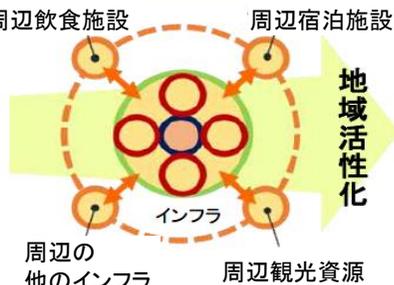


白鳥大橋主塔からの室蘭港の絶景パノラマを堪能！



白鳥大橋主塔からの絶景を背景に記念撮影！

“インフラツーリズム”を活用した地域活性化へのイメージ

土木広報 ～インフラツーリズムの基礎～	土木広報＋付加価値 ～魅力ある観光資源へ～	(土木広報＋付加価値)×周辺観光資源 ～地域と連携した観光地域づくり～
<p>土木施設の役割や必要性を学ぶ見学</p>  <p>インフラ</p>	<p>インフラの特性に応じた見せ方</p> <p>魅力の発信</p> <p>見学ガイドによる面白さ</p>  <p>インフラ 民間や地域との連携</p>	<p>周辺飲食施設</p> <p>周辺宿泊施設</p> <p>地域活性化</p>  <p>周辺の他のインフラ</p> <p>周辺観光資源</p>
土木広報としてインフラの見学会を実施している段階	インフラの見学会を磨き上げ、より広範囲から人を呼び込む段階	インフラと地域との連携により、周辺観光資源等にも立ち寄り、より一層地域活性化が図れる段階

国土交通省では、インフラについて単なる土木広報としての見学会を実施するだけではなく、より魅力ある観光資源として民間や地域と連携、更には周辺の観光資源等を結びつけて、より一層の地域活性化を図ることをインフラツーリズムのあるべき姿としています。

白鳥大橋主塔登頂クルーズを運営している方へ聞きました

このクルーズは、養成講座を受講した市民ガイドの皆さんや室蘭市の職員、室蘭港内を案内して橋の築島へお客様をご案内する船会社の方々、また、安全を保つ開発局職員及び委託業者の方々など多くの人々によって運営されています。そこで、多くのガイドを行っている室蘭市の丸田観光課長とスターマリン(株)社長の伊藤船長にお話を伺いました。

◎ガイドとしては、ところどころに危険な場所(つまづいたり、頭をぶつけそうなど)があるので、注意喚起しています。船上では、地上でのガイドと違って、説明する場所の方角などを分かりやすく伝える工夫や、船や風の音が大きいので、ゆっくりはっきり説明するようにしています。

◎お客様の声として、「普段は入れないところに入れる優越感がある」「100mの高さからの景色は絶景!」「高い場所が強くないけど、思ったより怖くない」「こんなに噴火湾がぐるっと見渡せると思ってなかった」などのお話がありました。

◎来年度に向けては、天候による欠航率をできるだけ下げられるよう、関係者で協議を進める予定です。また、今年度は緊急事態宣言があり実施期間が短かったですが、来年はたくさんの観光客に来て欲しいと思っています。

室蘭市 丸田観光課長



スターマリン(株) 伊藤社長(船長)



◎私の場合、船上からのアナウンスなので、海の上では意識して声のトーンや、ゆっくりした話し方を心がけています。重要なところは特にゆっくり説明しています。お客様の反応が理解してくれているかを示してくれます。

◎お客様から声をかけていただけるのは楽しみです。「この前テレビ見たよ」とか…。あと、印象深かったのはご年配の方で「橋ってこうなっているんだ」とインフラの構造に感嘆されていたことです。

◎来年度に向けては、お手洗いの問題がありますね。特に女性は仮設トイレでも敬遠してしまうのに、ましてや船の中のトイレはなおさらだと感じています。あと、付加価値として見学した後のゆったりした時間も必要ですね。例えば、築島の上にビーチなどで使うリクライニングシートを並べて、カクテルが楽しめるとか…。

マスコミの関心も高いです

このツアーは、テレビ・ラジオなどを含め何度も紹介されています(日付は取材日)。

- ・3月27日・・・HBCテレビ「麒麟 川島明のクイズで発見! ニューノーマル北海道」
- ・4月30日・・・雑誌「HO」
- ・8月6日・・・HBCラジオ「カーナビラジオ午後一番!」
- ・11月5日・・・HTBテレビ「LOVE HOKKAIDO」
- ・朝日新聞、北海道新聞、室蘭民報など各紙に掲載



室蘭開発建設部の担当職員から

道路計画課 横田上席道路計画専門官
・白鳥大橋は前職で補修計画、今回はインフラツーリズムに携わり、愛着いっぱいです。室蘭の新しい名所になることを願っています。
※ガイド研修で下船するガイド候補をサポート →

地域振興対策室 大山上席地域振興専門官
・令和3年の4月に前任者から引き継いだ時は、自走化がこんなに早く実現するとは思っていませんでした。
関わってこられた地元の皆さんと道路部門の職員の皆さんの熱意の賜物だと思っています。

